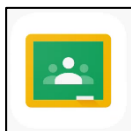


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	西備支援学校	実践者名	中川由美子・福見太郎・岡本卓也
実践場面 (教科)	生活単元学習		
単元・題材名	「修学旅行に行こう！」		
学習目標・ねらい	・ 修学旅行の行き先や活動内容に見通しをもつことができる。 ・ 活動の手順を確認して、買い物の手順やレストランでの食事の仕方を 知ることができる。		
対象の児童生徒の 実態	・ 知的障害部門小学部6年生 10名 ・ 個人の iPad でカメラアプリやなぞり書きの学習アプリを授業時間に使 ったり、余暇の時間に自分の好きな動画を見て過ごしたりすることに慣れ ている。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
○ Classroom を活用して、授業の振り返りや当日の事前学習に取り組むことができるように した。			
【実践で使った機器・アプリ等】 機器：iPad、アプリ：「Classroom」			
① 教員による事前準備			
・ 授業で活用したスライドを、PDF データとして保存しておく。 ・ 修学旅行で行く予定であったテーマパークのホームページから、関連する動画のリンクを収 集しておく。			
② 課題を配信する。（週末、自宅での課題として、金曜日の15時に配信した。）			
・ Classroom アプリに準備しておいた PDF データと動画のリンクを添付して、配信する。			
※課題の配信は、2週に分けて行った。			
1 週目：PDF「修学旅行に行こう！～いつ？どこ？～」 動画リンク「2022 おもちゃ王国プロモーションビデオ」			
2 週目：PDF「買い物をしよう。」「レストランで食べよう。」 動画リンク「レストランショップ」			
			
			
活用のポイント・改善策等			
・ 一人一台端末を活用した課題に興味をもって取り組むことができるように、修学旅行を題材 とした。 ・ 児童の実態に応じて課題を選択することができるように、事前学習のスライドデータと動画 リンクを用意した。 ・ 連絡帳を通して、保護者の方から児童が課題に取り組んでいた様子を聞くことができたが、 オンライン上で学習に取り組んだことを報告できるやり方についても考える必要性を感じ た。			